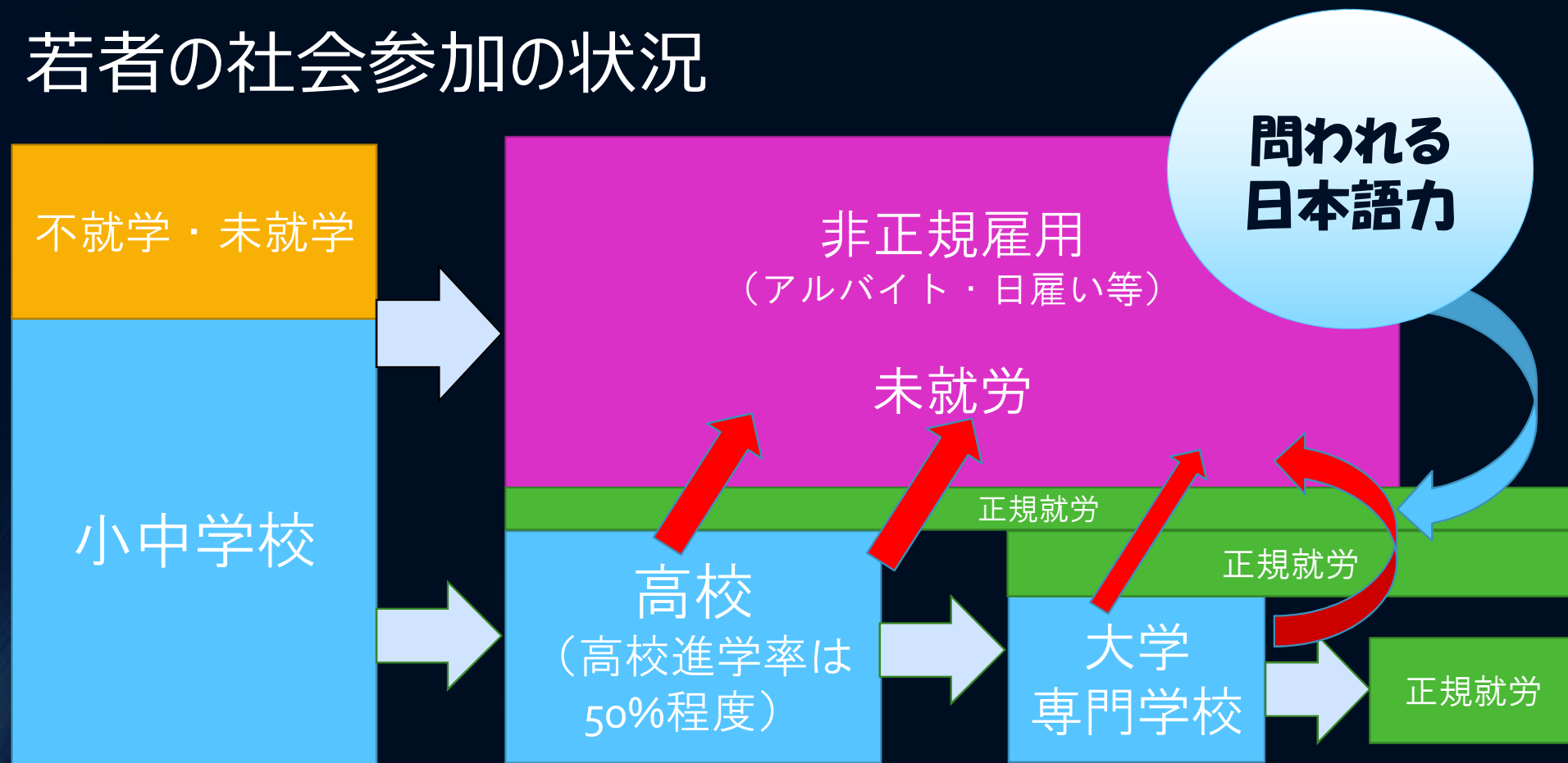


平成28年度
文化庁日本語教育大会
第2分科会

若者に対する日本語学習支援の現状と課題

2016年8月28日 13:00~15:00
NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ 高橋清樹

若者の社会参加の状況



→来日時期は？

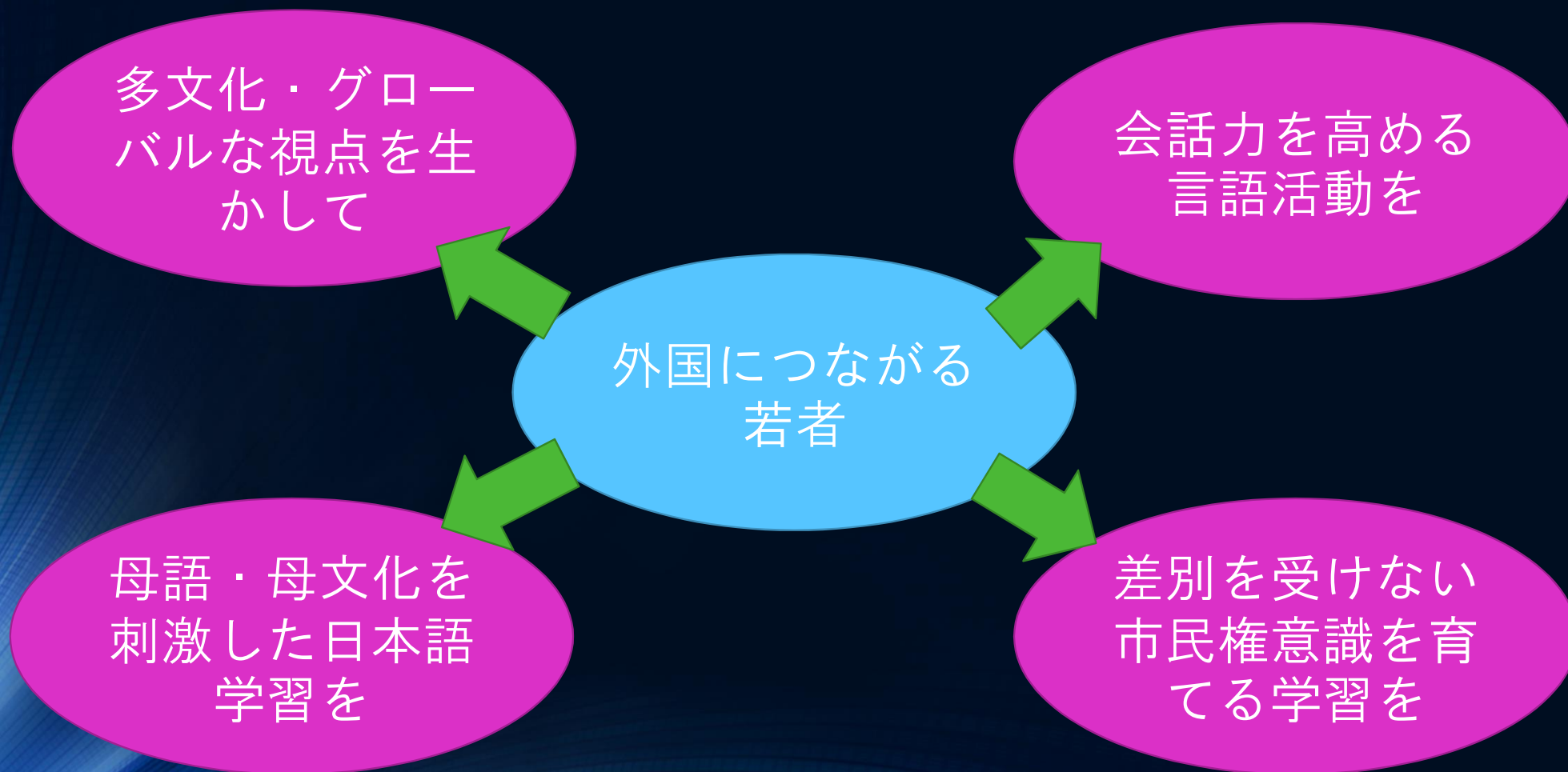
日本生まれ 小学校期 中学校期 中卒後

若者の日本語力はどこまで必要か？

- A 日本語能力試験N 1の取得？
- B 履歴書が自分で書ける日本語力？
- C 面接で正しく会話できる日本語力？
- D 新聞が読める力？

一人ひとり
に応じた
日本語指導

外国につながる若者の特性を生かした日本語学習



若者が社会参加のための日本語を学ぶ場は？

- A 高校、大学？
- B 「働く日本語」…JICE主催教室？
- C 地域日本語教室？
- D 職場で？

**若者が
日本語を学
ぶ場の提供**

第2分科会での報告者

- ピッチフォード理絵さん（NPO法人青少年自立援助センター）
- 中原岩夫さん（NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ）
- 持丸邦子さん（青少年多文化学びサポート）

**会場の皆様も
ぜひご意見・
ご報告を！**